

令和7年度 事業計画

1.基本方針

我が国では人口構造の変化により 2025 年には約 800 万人いる全ての「団塊の世代」が 75 歳以上の後期高齢者となり、国民の 5 人に 1 人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えると言われています。

この所謂「2025 年問題」における最大の課題は労働力人口の減少であり、高齢化社会の進行によって今後あらゆる産業で人材不足に陥り、人材確保の競争が激しさを増すものと予想されます。

このように地域社会における人手不足が深刻さを増す中、元気な高齢者が地域で働き、地域社会における課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められています。

一方、令和 2 年以降のコロナ禍は雇用情勢をはじめとする社会経済活動に大きな影響を与えており、シルバー事業においても全国的に契約実績や会員の拡大に少なからず影響を受けています。

こうした中、当センターにおいても引き続き新たな就業機会の開拓と会員の拡大は最重要課題であり、特に受注件数の減少が著しい一般家庭からの受注について、センターに求められる新たなニーズの把握と具体的対策の検討に努めるとともに、会員の拡大に当たっては女性会員の獲得を重点目標としながら、商業施設での街宣や新聞折り込みチラシ等による周知・PR 活動を通じてシルバー事業の社会的役割の重要性を広く地域社会に周知し、就業機会の開拓と会員の拡大に取り組みます。

また、地域社会における課題解決の担い手として、行政の施策と連携した福祉・家事援助サービス事業、空き家管理対策事業、放課後児童クラブ補助員事業等を推進し、次世代の生活や人手不足に苦慮する企業等を下支えする役割を果たすとともに、センターが地域社会との信頼関係を確立し、その一員として存在意義を高めていくため、ボランティア等の社会活動を行うほか、インボイス制度やフリーランス新法の施行、さらには契約方法の見直し等、国の制度の実施に伴う社会情勢の変化に起因する様々な課題に対応しながら、公益法人としての公益性、透明性を確保し、地域社会における支え手を実践できるよう、堅実な運営を目指します。

2. 事業実施計画

①会員の増強と新規会員の確保

- ・新規会員の掘り起こしを図るため、商業施設でのPR活動の他、会員募集の折り込みチラシに合わせた特別開催(5日連続)の入会説明会を実施する。
- ・会員増強のため、新規に大湊区、名立区で移動入会説明会を開催する。
- ・女性会員獲得のため、女性に限定したイベントや入会説明会を実施する。
- ・女性会員増強のため、新規企画事業の検討を行う。
- ・ハローワークが開催する就業相談会やセミナー等に参加し、主に60歳代の高年齢者を対象とした入会促進活動を実施する。
- ・連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、新規に宿直業務従事者、機械除草作業従事者の育成講習を開催し、新規会員獲得と就業拡大を図る。

②普及啓発活動と就業機会の確保

- ・地域における求人や退職者に関する情報の収集、及び空き家・空き地管理業務の受注拡大を図るため、就業開拓専門員による町内会等への訪問活動を実施する。
- ・女性会員の就業機会確保のため、就業ニーズの把握に努め、関係機関に対し女性部会の活動を積極的にPRする。
- ・シルバー事業の普及啓発と地域への社会貢献のため、清掃ボランティアや福祉施設でのボランティア活動を実施する。
- ・市作成封筒の広告掲載や、上越市の広報を活用したPR活動を実施する。

③デジタル利用の推進

- ・新規会員を対象に、定期的にスマートフォンの使い方やコミュニケーションツールの活用法を学ぶための講習会を開催する。
- ・既存の会員向けにスマートフォンのおさらい講習会を開催する。
- ・コミュニケーションツールによる就業情報をはじめとした定期的な情報の配信と、会員の利用促進を図るため、「スマイルの日」を設け、デジタル人材の育成を図る。
- ・更なる情報発信とSNSの利便性向上のため、ホームページを刷新する。
- ・デジタル対応人材確保のため、Web入会制度の導入を検討する。

④安全・適正就業の推進

- ・刈払機の飛び石防止刃の使用を推進するため、安全教育と使用方法の講習会を新規に開催する。
- ・剪定・冬囲い作業、及び機械除草作業に従事する会員を対象に作業別安全研修会を実施する。
- ・就業中の事故発生時において類似事故防止のため、コミュニケーションツール登録会員に対し事故情報を発信する。
- ・新規に全会員を対象としたハラスメント講習会を開催するとともに、新入会員を対象とした研修会を開催し、シルバー会員のレベルアップとブランド力の向上を図る。
- ・企業の定年延長等により、登録会員の高齢化が進む中、加齢に起因する傷害事故に対応するため、事故発生時の保証内容を充実させる。

⑤ 健全な財政運営と事業運営の効率化

- ・シルバー事業の安定した運営のため、上越市への補助金、及び高齢者の特色を生かした業務の発注に対し要望活動を実施する。
- ・新契約方法に伴う見直しにあたり、その周知方法や事務処理について検討を行う。
- ・職員、理事、事業推進員等が個々に先進地視察を行い、センターの事業運営に反映させる。